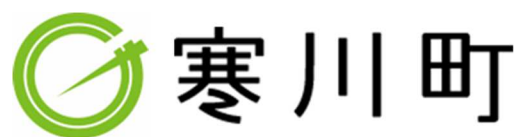




寒川町 舗装維持修繕計画 (舗装個別施設計画)



令和8年4月

目 次

1	はじめに	1
1.1	計画策定の背景・目的	1
2	維持修繕計画	2
2.1	維持修繕計画の内容	2
2.2	舗装の維持管理の基本的な考え方	3
2.3	従前計画の評価	5
2.4	管理延長	9
2.5	道路の分類	10
2.6	点検方法・点検頻度	12
2.7	管理指標および管理基準	13
2.8	健全性の診断区分	15
2.9	メンテナンスサイクルのフロー	18
2.10	対策の優先順位	19
3	中長期管理計画	20
3.1	今後必要となる予算	20
3.2	ライフサイクルコストの削減効果	21
4	短期修繕計画	22
5	今後の課題	24

1 はじめに

1.1 計画策定の背景・目的

寒川町では、平成 28 年度に町が所有・管理する公共施設やインフラ資産（道路・橋りょう・下水道）について、長期的な視点を持って、公共施設等のあり方について方向性を示すことを目的に「寒川町公共施設等総合管理計画」を策定しました。その中で、インフラ資産については、既存の長寿命化等に関する計画を着実に実行するとともに、計画年次終了前において、効率的かつ効果的な手法を随時検証し、定期的に計画の見直しを行いながらコスト縮減に努めることとされています。

舗装については、平成 25 年度および 26 年度に管内道路約 190km のうち舗装されている約 160km の路面性状調査を行い、平成 27 年度から平成 32 年度（令和 2 年度）までの 6 箇年の「寒川町道路舗装維持修繕計画」を策定しました。そして、令和元年度に 2 回目の調査を実施し、令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 箇年の計画更新を実施しています。

本計画は、こうした背景を踏まえ、新たに令和 6 年度に実施した路面性状調査結果を反映した「寒川町舗装維持修繕計画」を策定するものです。

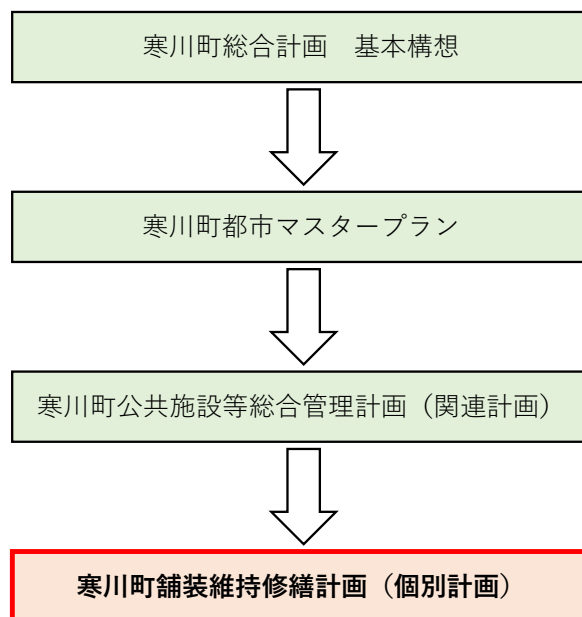


図- 1.1 舗装維持修繕計画の位置付け

2 維持修繕計画

2.1 維持修繕計画の内容

本計画では、平成 28 年度に国土交通省より制定された「舗装点検要領」の内容を踏まえて道路分類を設定、路面性状調査から得られるひび割れ率を管理指標とし、道路分類に応じて管理水準を設定しました。また、管理水準までは路面が悪化していないひび割れ率 20% の箇所に対しては、舗装面に発生したひび割れにクラックシーل材（ブローンアスファルトなど）を充填し、路盤への雨水の浸入を遮断し、舗装の損傷を遅延させる目的でクラックシーล材注入工法を実施します。

維持修繕計画における各検討内容は、次頁以降に示します。

表- 2.1 維持修繕計画内容

項目	設定			
対象路線	全線（166.144km）			
道路分類	分類 B	なし	0.0km	0.0%
	分類 C	大型車の通行が見られ、町内の重要路線と考えられる路線	25.200km	15.2%
	分類 D	生活道路等	140.944km	84.8%
点検方法・頻度	分類 C	路面性状測定車によるひび割れ率、わだち掘れ量、I R I 調査		5 年に 1 回
	分類 D	路面性状測定車によるひび割れ率、わだち掘れ量、I R I 調査		5 年に 1 回
評価単位	100m 評価			
調査サイクル	5 年			
管理指標	ひび割れ			
管理水準	分類 C	ひび割れ率 35%		
	分類 D	ひび割れ率 40%		
補修工法	ひび割れ率 20%		クラックシール材注入工法	
	分類 C：ひび割れ率 35%		打換え	
	分類 D：ひび割れ率 40%		全層打換え	

表- 2.2 舗装点検要領に基づくアスファルト舗装の診断区分（参考）

診断区分		ひび割れ率 (%)	わだち掘れ量 (mm)	I R I (mm/m)
I	健全	0～20 程度	0～20 程度	0～3 程度
II	表層機能保持段階	20～40 程度	20～40 程度	3～8 程度
III	修繕段階	40 程度以上	40 程度以上	8 程度以上

参照元：舗装点検要領，国土交通省道路局，平成 28 年 10 月

2.2 舗装の維持管理の基本的な考え方

道路舗装の適切な維持管理に向けた基本的な考え方は、安心・安全等を確保するため、点検、診断、措置および記録、そして次の点検というメンテナンスサイクルを構築し、道路舗装の長寿命化や維持修繕費等のライフサイクルコスト（LCC）の縮減を図ります。

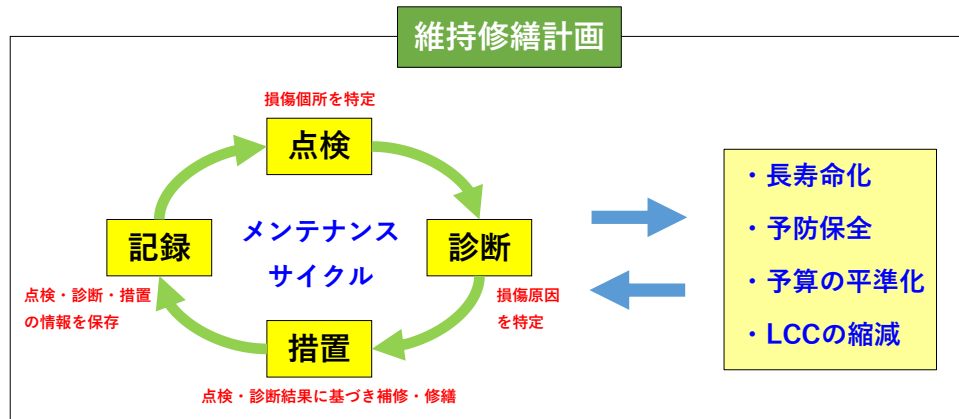


図- 2.1 道路舗装の維持管理のイメージ

ライフサイクルコストとは・・・

舗装の長期的な経済性を検討するための概念であり、舗装の建設から次の建設までの一連の流れに要する費用です。

（１）事後保全から予防保全へ

路盤までが損傷し、大規模な修繕が必要になってから多大な費用をかけて修繕する事後保全だけではなく、クラックシールなどの補修により延命化を図りつつ、適切な段階で比較的安価な費用で修繕を行う予防保全を積極的に取り入れます。

路線の重要度や舗装の診断結果を基に、大規模修繕もしくは予防保全を適切に判断することが重要となります。

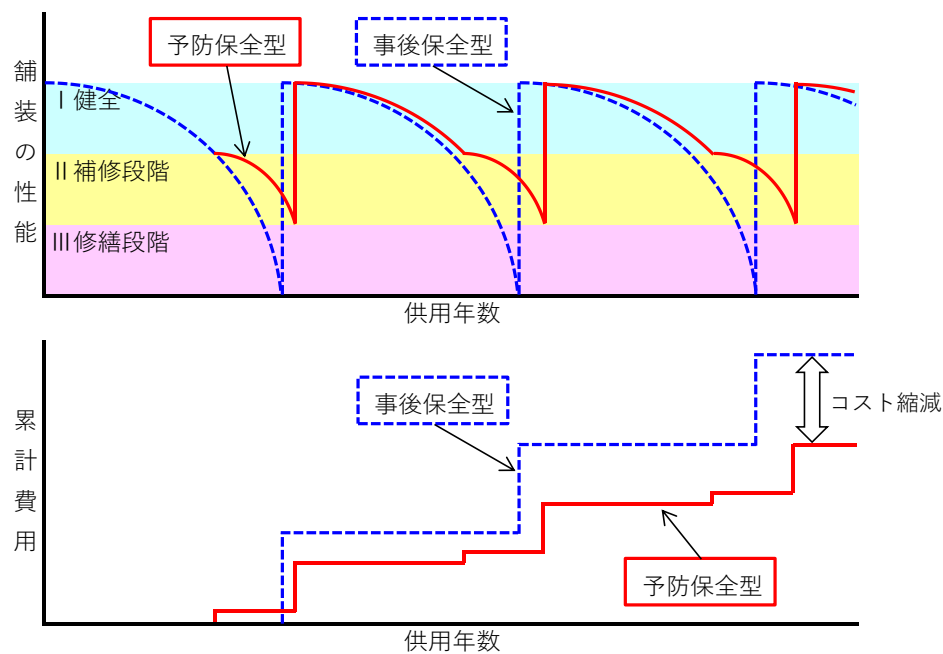


図- 2.2 事後保全と予防保全による維持管理のイメージ

（２）予算の平準化

年度によって予算が大きく変動することは、維持管理を行っていく上で好ましくありません。管理基準にとらわれ過ぎず、修繕のタイミングを調整することで予算の平準化を図ります。

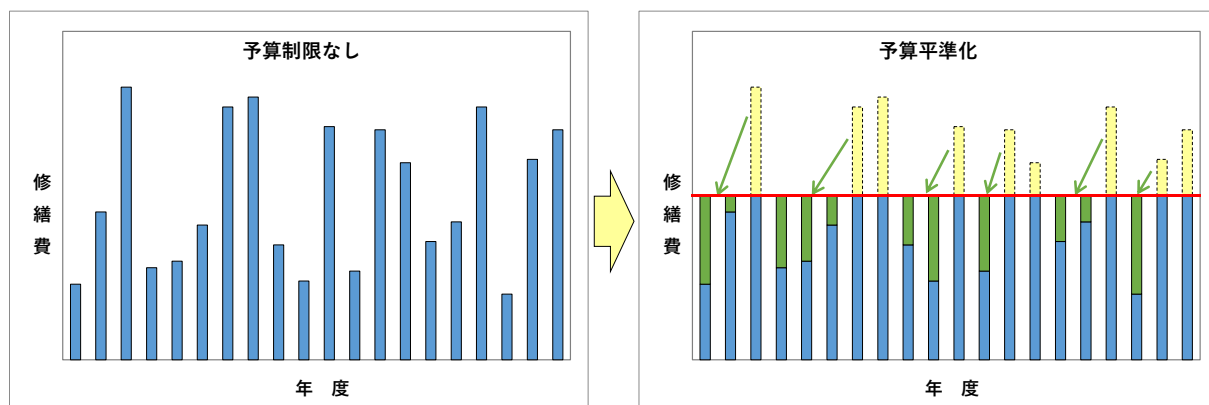


図- 2.3 予算の平準化のイメージ

2.3 従前計画の評価

(1) 管理内容

従前計画では、平成 28 年度に国土交通省より制定された「舗装点検要領」の内容を踏まえて道路分類を設定、路面性状調査から得られるひび割れ率を管理指標とし、道路分類に応じて管理水準を設定しました。また、管理水準までは路面が悪化していないひび割れ率 20%の箇所に対しては、舗装面に発生したひび割れにシール材（ブローンアスファルトなど）を充填し、路盤への雨水の浸入を遮断し、舗装の損傷を遅延させる目的でシール材注入工法を実施しました。

表- 2.3 従前計画の管理内容

項目	設定			
対象路線	全線 (166.239km)			
道路分類	分類 B	なし	0.0km	0.0%
	分類 C	大型車の通行が見られ、町内の重要路線と考えられる路線	26.325km	15.8%
	分類 D	生活道路等	139.914km	84.2%
路面性状調査の項目	ひび割れ率、わだち掘れ量、平たん性			
評価単位	100m 評価			
調査サイクル	5 年			
管理指標	ひび割れ			
管理水準	分類 C：ひび割れ率 25% 分類 D：ひび割れ率 30%			
補修工法	ひび割れ率 20%		シール材注入工法	
	分類 C：ひび割れ率 25%		打換え	
	分類 D：ひび割れ率 30%		全層打換え	

(2) 舗装路面の状態

従前計画の実施効果を確認するため、前回調査結果（令和元年度）と令和6年度の調査結果のひび割れ率で比較しました。

管内全体の平均ひび割れ率は、前回調査の12.4%から令和6年度調査では6.2%に減少し、診断区分Ⅰの比率が増加しております。従前計画で客観的な指標から修繕箇所を選定した効果が見受けられます。

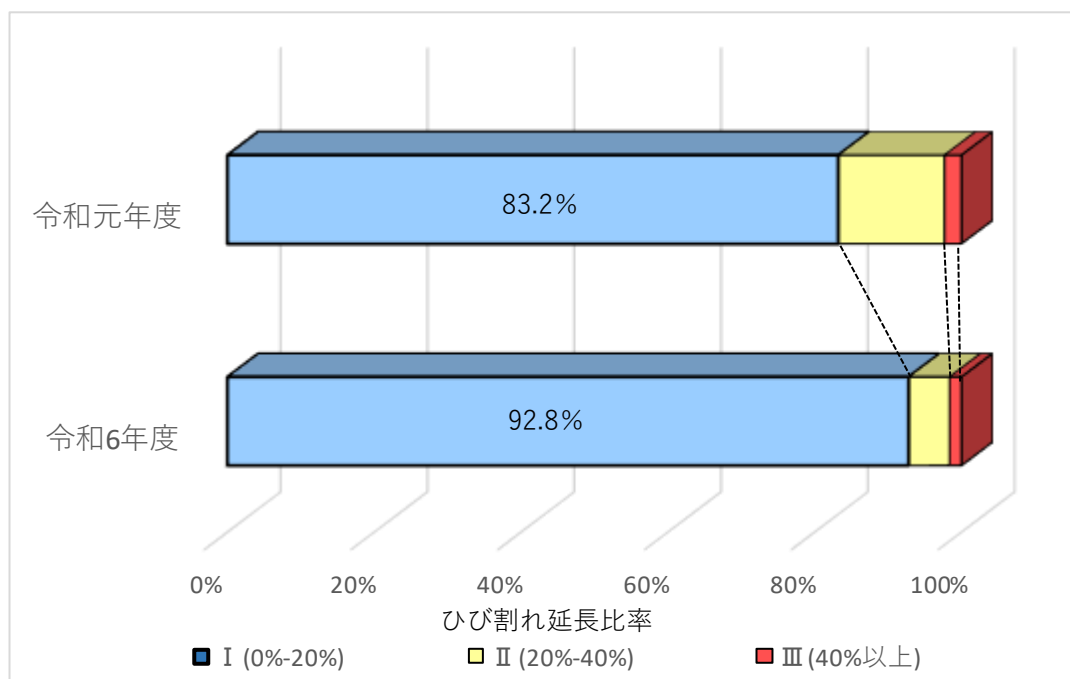


図- 2.4 ひび割れ診断区分別延長の推移

(3) 事業の進捗状況

従前計画では、令和3年度からの5箇年合計で約615百万円（約123百万円/年）の維持修繕計画を策定しました。その進捗率は年度ごとに増減はあるものの、令和5年度までに金額ベースが約150%、延長ベースでも100%の修繕を実施しています。

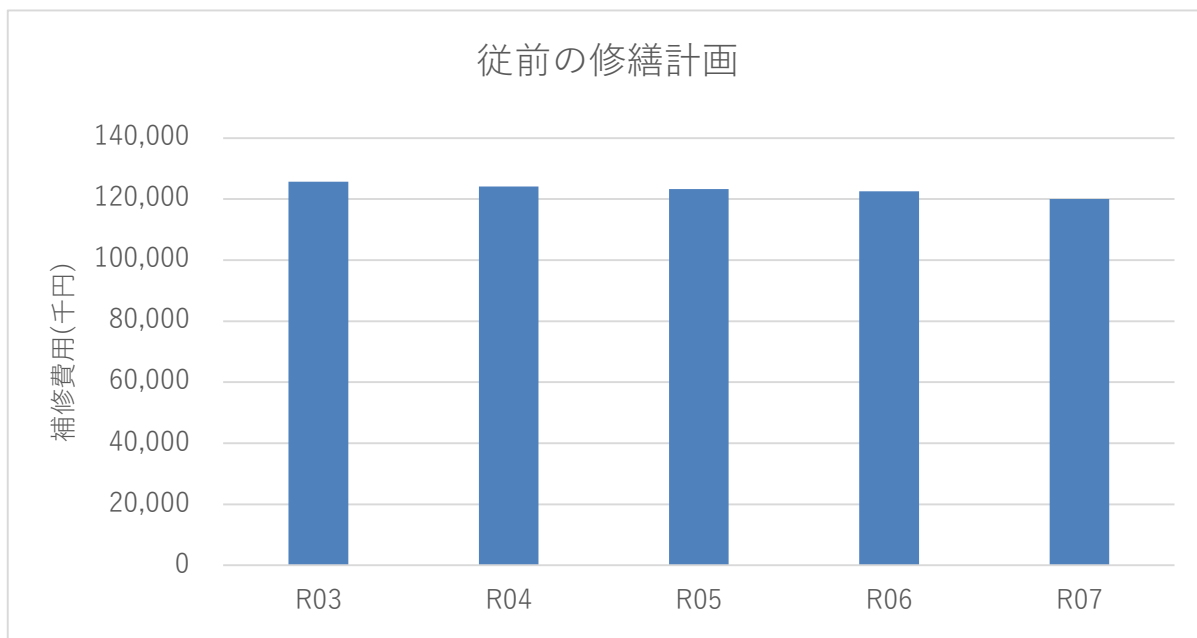


図- 2.5 令和元年度舗装修繕計画

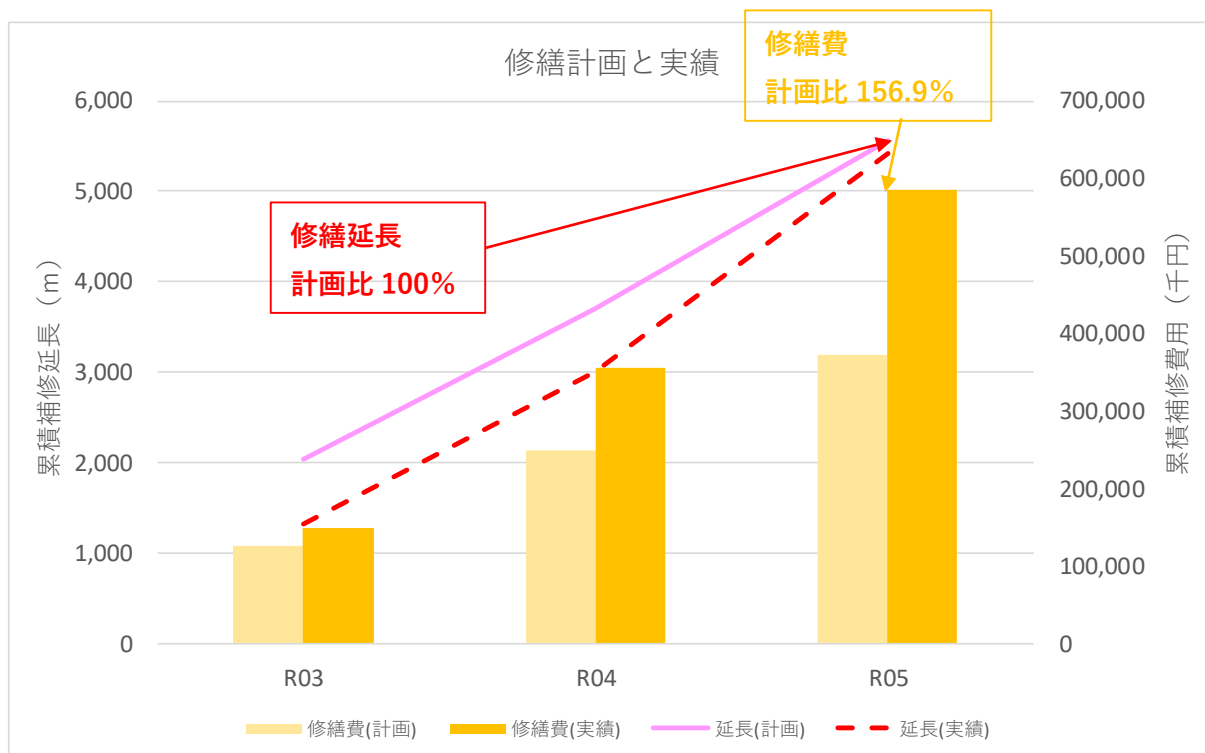


図- 2.6 従前計画の進捗

（４）従前計画の評価

従前計画を策定したことにより、以下の効果がありました。

- 管理指標をひび割れ率と明確化したことにより、工事箇所を選定が容易になりました。
- 舗装の状態を定量評価したことにより、補修優先順位がはっきりし、住民要望へ対応がしやすくなりました。
- 計画的な修繕により、令和５年度までに町全体のひび割れ率が下がりました。

（５）従前計画の課題

従前計画に基づく修繕箇所を選定には、以下の課題がありました。

- 路面性状の劣化予測は、従前計画に則り維持修繕した結果に基づくものであるため、次期点検結果を基に見直す必要がある。
- 管理指標は、現状の舗装劣化状況や中長期シミュレーション結果を踏まえた予算状況を勘案し設定するため、次期計画改定時に見直す必要がある。
- 対策優先順位を決める際の評価項目は、舗装の劣化度のみではなく路線の重要度や周辺環境も加味する必要があるため、次期計画改定時に項目の見直しを検討する必要がある。

2.4 管理延長

管内の管理延長 166.144km（令和 6 年度、現在）を 10 地区に分けて管理しており、地区別では倉見地区が最大で約 32km、中瀬地区が最小で約 3km になります。道路種別では、1 級町道、2 級町道とも約 11%で、一般（その他）町道が約 78%を占めています。

表- 2.4 地区毎、道路種別毎管理延長

地区	1級			2級			その他			As舗装計	Co舗装計	合計
	As舗装	Co舗装	小計	As舗装	Co舗装	小計	As舗装	Co舗装	小計			
田端	8,172	0	8,172	4,230	0	4,230	8,563	0	8,563	20,965	0	20,965
一之宮	0	0	0	1,937	0	1,937	19,396	28	19,424	21,333	28	21,361
中瀬	0	0	0	895	0	895	2,501	0	2,501	3,396	0	3,396
大曲	1,188	162	1,350	1,150	0	1,150	8,047	208	8,255	10,385	370	10,755
岡田	1,110	0	1,110	3,904	0	3,904	19,266	30	19,296	24,280	30	24,310
大蔵	2,281	0	2,281	0	0	0	3,929	0	3,929	6,210	0	6,210
小谷	1,665	0	1,665	0	0	0	8,719	4	8,723	10,384	4	10,388
小動	0	0	0	1,350	0	1,350	6,119	3	6,122	7,469	3	7,472
宮山	4,256	0	4,256	275	0	275	24,631	0	24,631	29,162	0	29,162
倉見	0	0	0	3,054	0	3,054	29,071	0	29,071	32,125	0	32,125
計	18,672	162	18,834	16,795	0	16,795	130,242	273	130,515	165,709	435	166,144
	11.3%			10.1%			78.6%			100%		

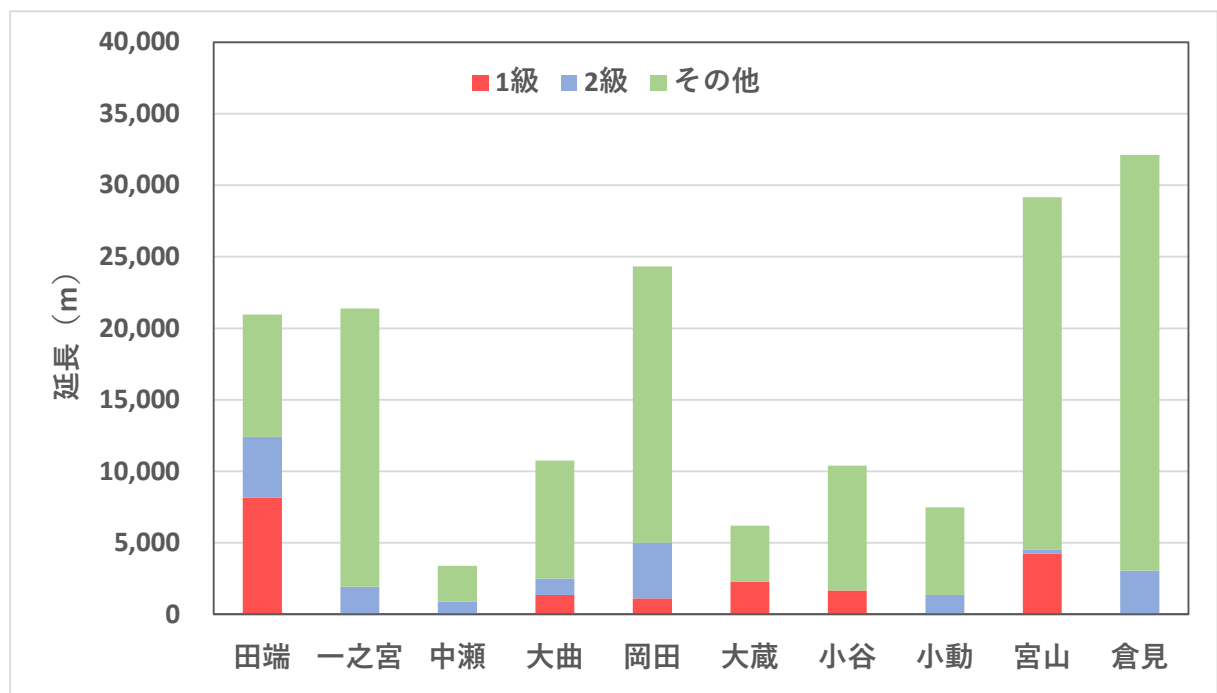


図- 2.7 地区毎、道路種別毎管理延長

2.5 道路の分類

「舗装点検要領」では、舗装の効率的な管理の実現を可能とする必要性から道路の分類を以下のように定義し、補修計画立案において利用することを示しています。

表- 2.5 道路の分類の定義

大分類	小分類	分類
損傷の進行が速い道路等 (例えば、大型車交通量が多い道路)	高規格幹線道路等 (高速走行など 求められるサービス基準が高い道路)	A
		B
損傷の進行が緩やかな道路等 (例えば、大型車交通量が少ない道路)		C
	生活道路等 (損傷の進行が極めて遅く 占用工事等の影響がなければ長寿命)	D

寒川町の管理道路においては、大型車の通行が見られ、町内の重要路線と考えられる路線を「分類C」に、それ以外の生活道路等を「分類D」と設定しました。

表- 2.6 道路の分類別管理延長

分類	対象道路	管理延長	全体比
分類 A、B の道路	なし	0.0km	0.0%
分類 C の道路	損傷の進行が緩やかな道路	25.200 km	15.2%
分類 D の道路	生活道路等 (損傷の進行が極めて遅く 占用工事等の影響が無ければ長寿命)	140.944 km	84.8%

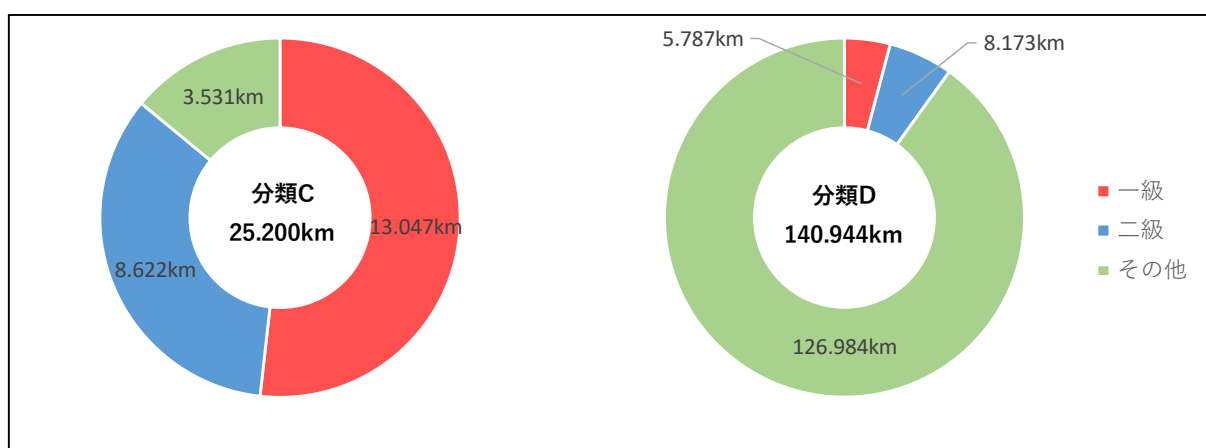


図- 2.8 分類別道路種別の内訳

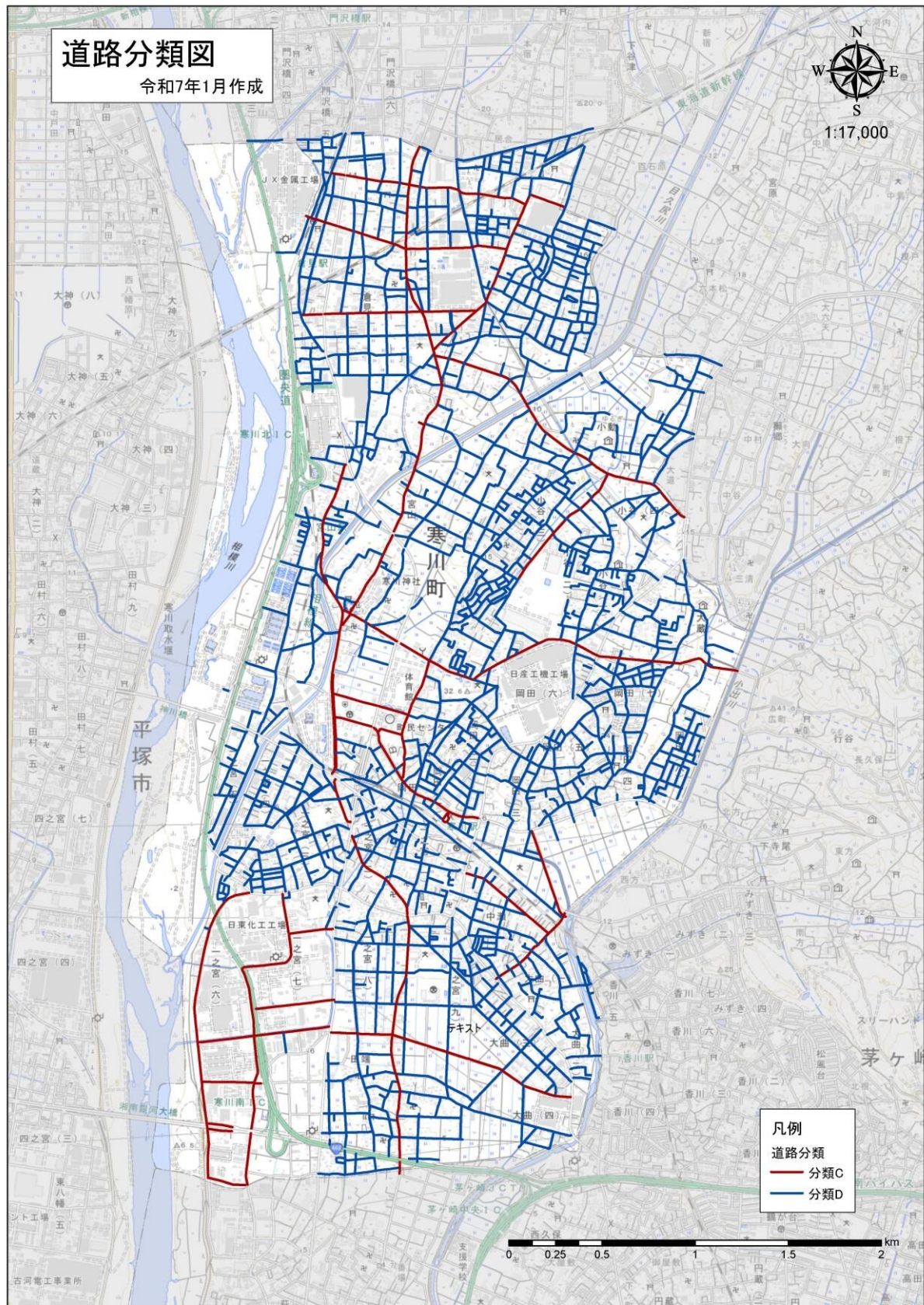


図- 2.9 管理道路の分類図

2.6 点検方法・点検頻度

舗装点検要領では、分類 C、D の道路は対象路線を計画的に一巡となるような点検順序を設定するとされています。

寒川町では、管理路線を対象に令和 8 年～12 年までの 5 箇年の短期修繕計画を策定することから、次期計画策定のため、5 年に 1 回点検を実施し、路面性状データの更新を行うものとしします。

なお、点検手法については、現在も様々な舗装点検技術が開発されています。寒川町の実情にふさわしい点検技術が開発された場合には、適宜、見直すこととします。

表- 2.7 点検方法および点検頻度

道路の分類	点検方法	点検頻度
分類 C の道路	路面性状測定車	5 年に 1 回
分類 D の道路	路面性状測定車	5 年に 1 回

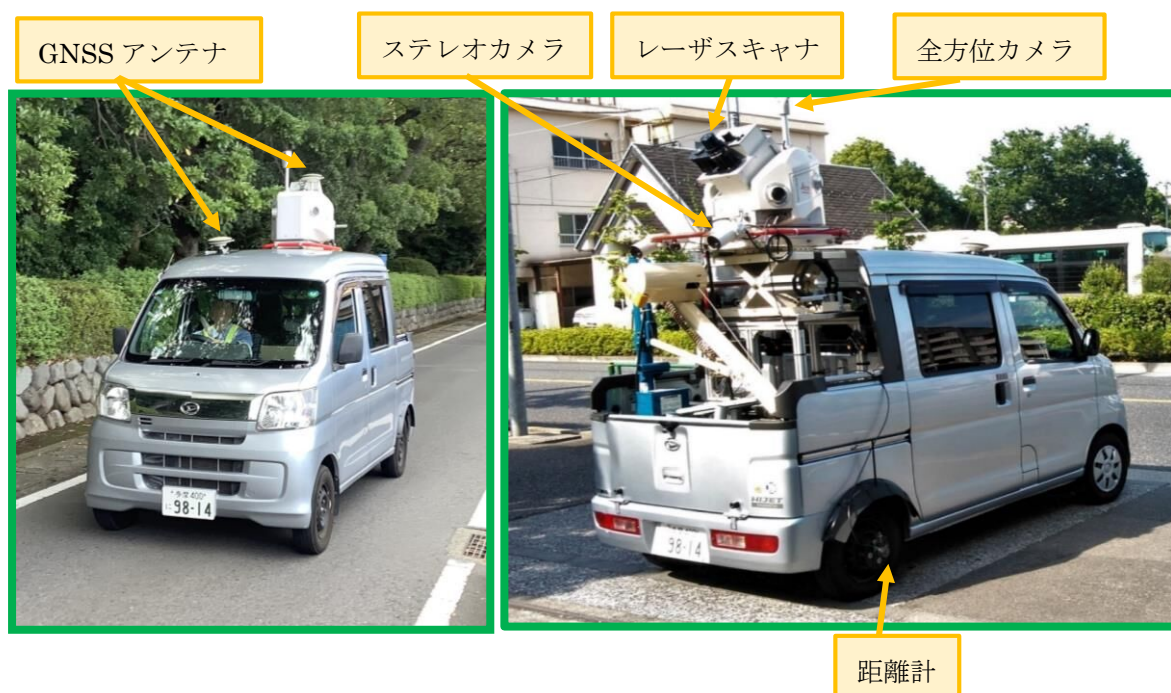


図- 2.10 路面性状測定車

2.7 管理指標および管理基準

(1) 管理指標

管理指標は、現地舗装劣化状況より、従前計画と同様にひび割れ率の単独指標によるものとします。

舗装は、ひび割れ等から雨水が浸入し、路盤以下の層にまで浸入すると、舗装の支持力が低下し、損傷の進行が著しく早くなることから、道路保全においては、路盤以下の層の保護が長寿命化への鍵となります。最小のコストで最適な効果を調達する効率的な管理を実現するために、路盤が損傷してから多大な費用をかける事後保全よりも、適宜クラック注入等の維持を行い、路盤以下の層への雨水の浸入を抑制することで長寿命化を目指す予防保全の管理を行います。

(2) 管理基準

分類 C の道路は、町の重要路線であり、利用者も多いことから、住民サービスの向上を鑑み、現在の路面の状態を最低限維持できるよう、分類 C の管理基準はひび割れ率 35%とします。

一方、分類 D の道路については、現地状況等から舗装点検要領に準じることとし、分類 D の管理基準はひび割れ率 40%とします。

管理基準については、すべての道路を同じ基準で管理するのではなく、重要度の異なる分類 C と D の道路で管理レベルに差を設けることで、効果的な維持管理を図ります。

表- 2.8 管理基準

道路の分類	ひび割れ率 (%)
分類 C	35%
分類 D	40%

表- 2.9 道路分類毎の路面性状の平均値

道路の分類	平均値		
	ひび割れ率 (%)	わだち掘れ量 (mm)	IRI (mm/m)
分類 C	5.8	5.1	5.7
分類 D	6.3	4.4	8.3



写真- 2.1 分類 C 路線におけるひび割れ率 35%の例



写真- 2.2 分類 D 路線におけるひび割れ率 40%の例

2.8 健全性の診断区分

(1) 現状の診断結果

令和6年度に実施した路面性状調査の結果より、舗装点検要領に基づく診断区分の結果、ひび割れ率の平均が6.2%で、約93%の区間が健全である診断区分Ⅰでした。一方、修繕段階の診断区分Ⅲが約2%、表層機能保持段階の診断区分Ⅱが約6%であることから、適切な維持管理が実施されていると判断できます。

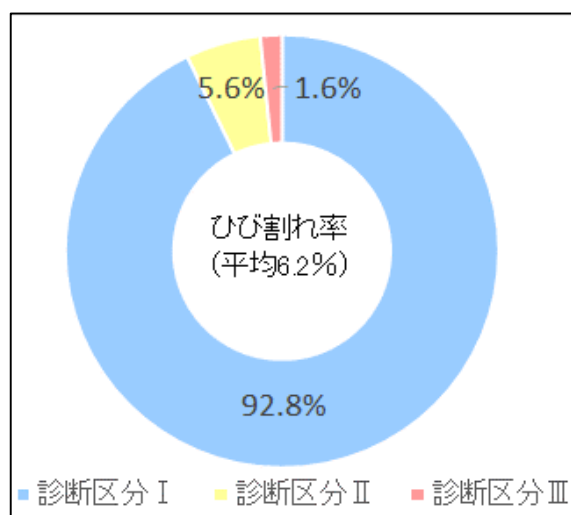


図- 2.11 ひび割れ率の分布

路面性状調査で測定したわだち掘れ量、IRIと比較すると、わだち掘れ量はほぼ全区間で健全となります。一方、縦断凹凸の評価であるIRIは、健全な延長が約1%でしかありませんが、IRIは修繕工事や占用復旧工事（ガスや水道の工事）における施工継目、橋梁等のジョイントにより低下することから、舗装の状態によらない点も多くなります。こうしたことから、寒川町の舗装劣化の要因は、ひび割れの発生によるところが大きいといえます。

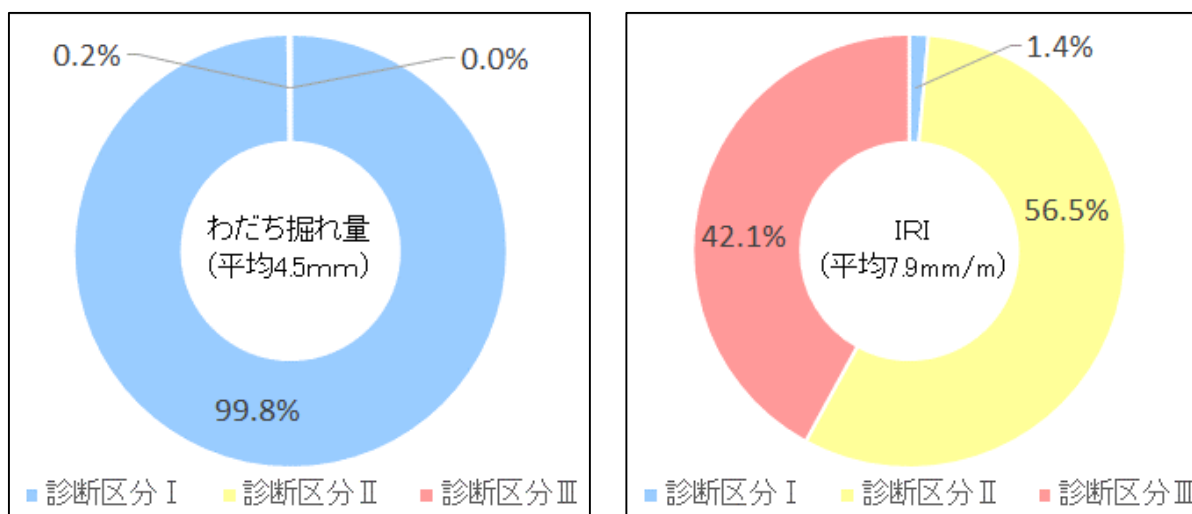


図- 2.12 路面性状調査結果（わだち掘れ量、IRI）



写真- 2.3 ひび割れ率による路面状態の例

(2) 管理基準による診断結果

本計画では、管理指標としたひび割れ率において、20%未満を区分Ⅰの健全段階、20%以上管理基準未満を区分Ⅱの表層機能保持段階、管理基準以上を区分Ⅲの修繕段階とします。

表- 2.10 診断区分の設定

道路分類	ひび割れ率		
	区分Ⅰ 健全段階	区分Ⅱ 表層機能保持段階	区分Ⅲ 修繕段階
分類 C	20%未満	20%以上 35%未満	35%以上
分類 D	20%未満	20%以上 40%未満	40%以上

令和 6 年度の調査結果を診断すると、修繕段階となる区分Ⅲは、分類 C は該当が無く、分類 D は約 2%で 2.7km が該当しました。

表- 2.11 健全度の診断結果

道路分類	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ	合計
分類 C	24,320m	1,400m	0m	25,720m
	94.6%	5.4%	0.0%	100.0%
分類 D	130,310m	7,991m	2,678m	140,979m
	92.4%	5.7%	1.9%	100.0%
合計	154,730m	9,291m	2,678m	166,699m
	92.7%	5.6%	1.7%	100.0%

※一部の路線については 2 車線調査をしているため管理延長の合計とは異なります。

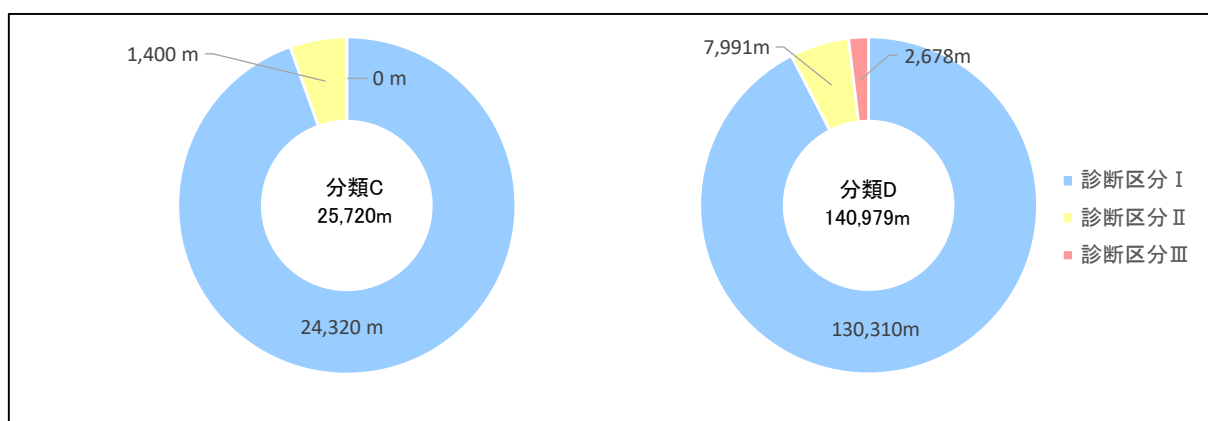


図- 2.13 道路分類別診断結果

2.9 メンテナンスサイクルのフロー

点検、診断、措置、記録のメンテナンスサイクルのフローを図- 2.14 に示します。

診断結果で区分Ⅲの修繕段階となった箇所については、詳細調査・修繕設計を行い、損傷に応じて適切な措置を実施するものとします。

また、区分Ⅱの表層機能保持段階となった箇所については、クラックシールで雨水の浸入を抑制し、路盤以下の層を保護することで長寿命を目指すものとします。

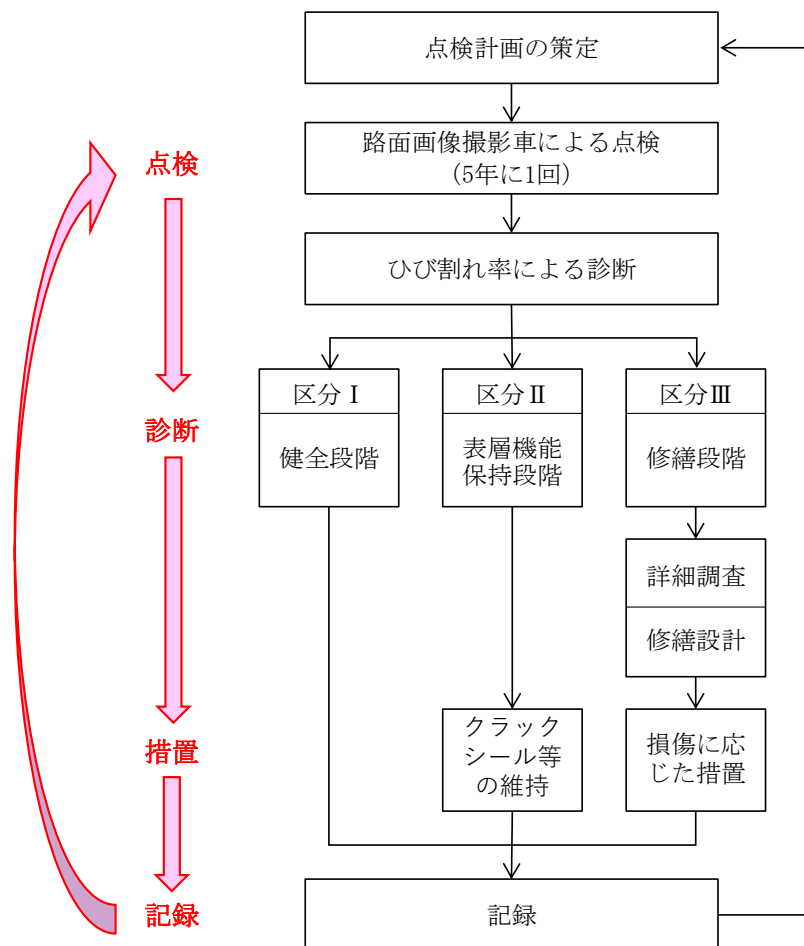


図- 2.14 メンテナンスサイクルのフロー

2.10 対策の優先順位

修繕工事の優先順位は、点検で得られた情報（ひび割率、わだち掘れ量、IRI 等）の他、巡視や住民通報に応じた対応等で得た箇所に対し評価点を付け、点数の高い順番に工事を実施するものとしました。

表- 2.12 優先順位の項目と評価点

項目	分類	条件・範囲	評価点 (点)
ひび割れ率	分類 C	35%以上	50
		30%以上	40
		20%以上	20
	分類 D	60%以上	60
		40%以上	50
		20%以上	20
わだち掘れ量		20mm 以上	10
道路分類		分類 C	5
		分類 D	0
区域区分		市街化区域	5
		調整区域	0
現地要望 (パッチング数)		高(6～)	20
		中(1～5)	10
		低(0)	0
道路改良予定		該当する場合	10
通学路(小学校指定)		該当する場合	10
バス路線(コミュニティバス、路線バス)		該当する場合	10
緊急輸送路(町指定)		該当する場合	10
都市マスタープラン 「生活中心拠点」 「にぎわい交流創出ゾーン」 「都市未来拠点」		該当する場合	10



総合評価点



優先度評価

3 中長期管理計画

3.1 今後必要となる予算

道路舗装を管理する上で、今後必要となる予算を定めます。令和 6 年度の路面性状調査結果を基に、令和 8 年度から 40 年間の予算シミュレーションによるライフサイクルコスト分析を行いました。その結果、1～10 年目までを 130 百万円/年、11～20 年目を 150 百万円/年、21～40 年目を 170 百万円/年とすることにより、補修費の急激な増加を抑え、路面性状の低下も少なくすることができます。

表- 3.1 予算シミュレーションの条件

道路 分類	補修のパターン	管理基準 (ひび割れ率)	
		クラックシール	修繕
分類 C	①クラックシール ⇒ ②切削オーバーレイ ⇒ クラックシール ⇒ 打換え ⇒ ①から	20%	35%
分類 D	①クラックシール ⇒ ②表層打換え ⇒ クラックシール ⇒ 全層打換え ⇒ ①から	20%	40%

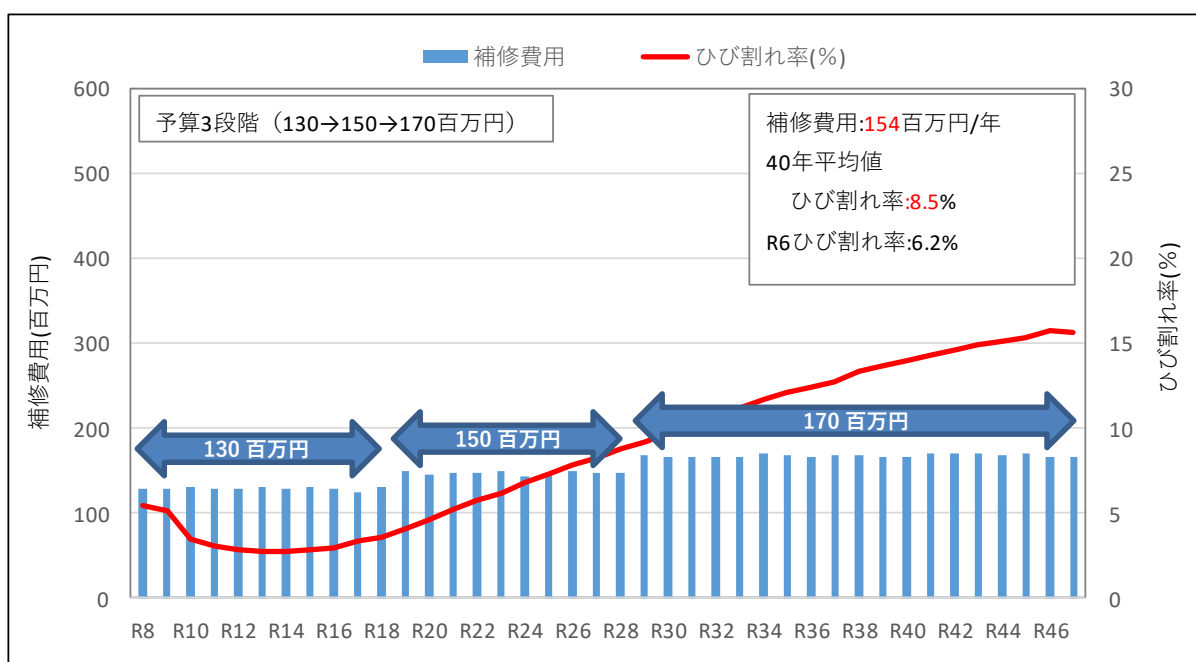


図- 3.1 修繕費用とひび割れ率の推移

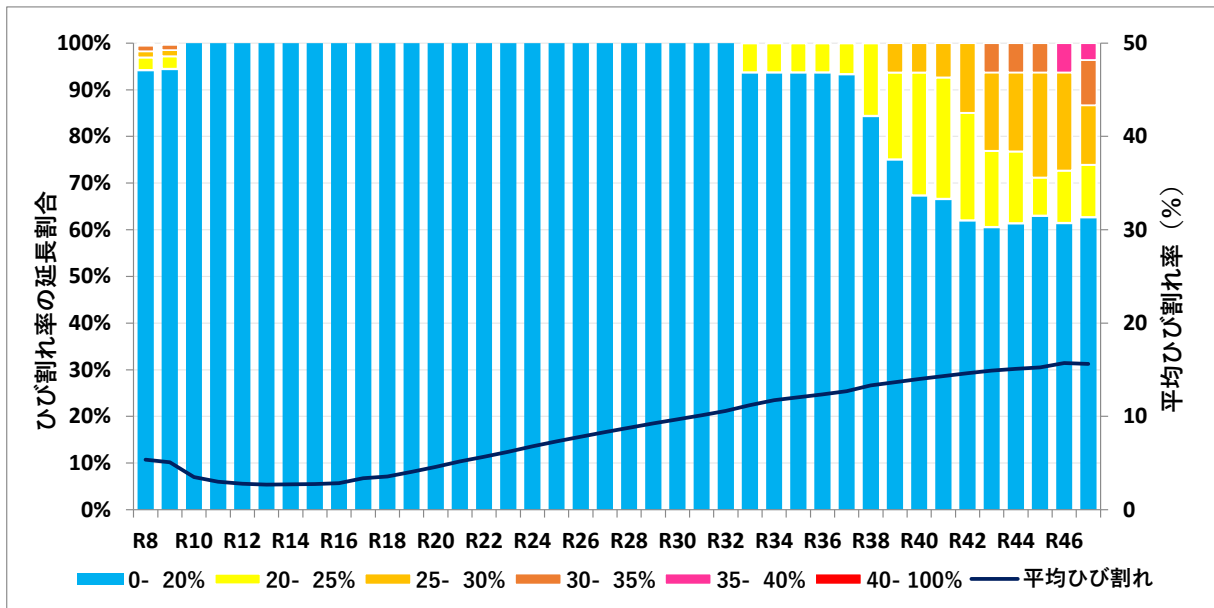


図- 3.2 ひび割れ率分布の推移

3.2 ライフサイクルコストの削減効果

予防保全で管理した上記計画と、道路が壊れてから補修する事後保全を比較すると、40年間で約2,400百万円、約28%の削減効果が見られます。

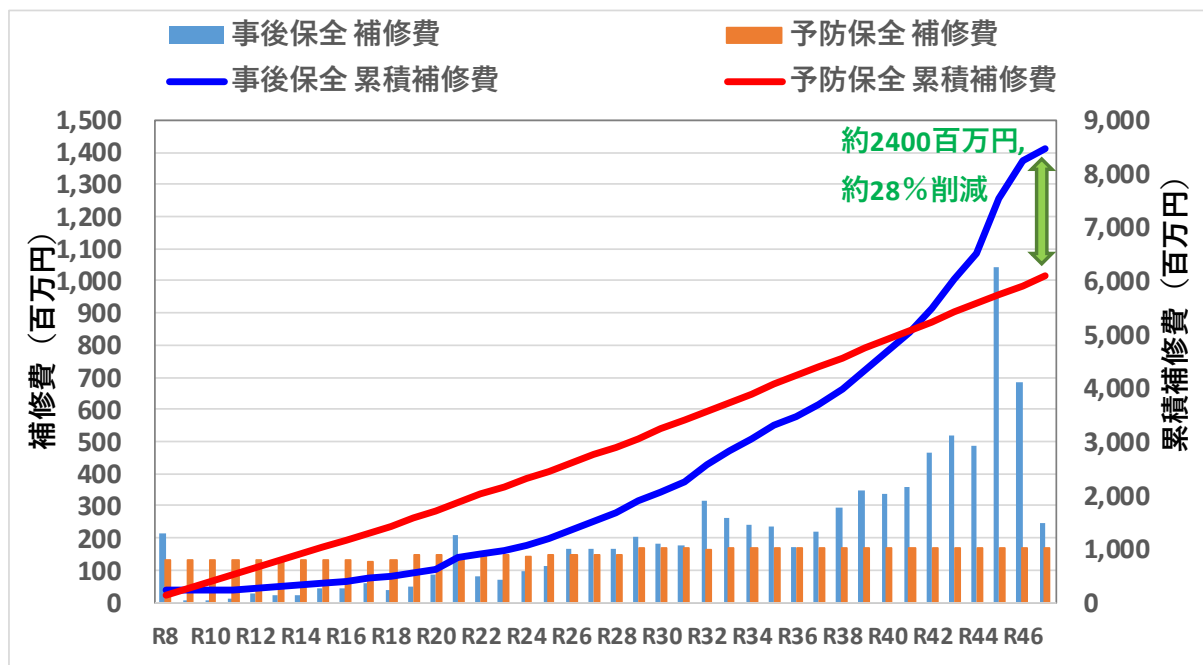


図- 3.3 予防保全と事後保全との比較

4 短期修繕計画

中長期管理計画を踏まえて修繕箇所の優先度を設定し、令和８年度～12年度の５箇年の短期修繕計画を策定しました。

令和８年度修繕箇所一覧表

修繕計画区間			地区	道路 分類	調査結果		点数											幅員	修繕 実延長 (m)	修繕工法
自 (m)	至 (m)	区間長 (m)			ひび割れ 率 (%)	わだち掘れ (mm)	ひび割れ 率	わだち掘れ	道路分類	区域区分	現地要望	道路改良	通学路	バス路線	緊急輸送 路	都市マス	評価点 合計			
2400	2500	100	田端	D	21.7	3.4	20	0	0	5	0	0	10	10	0	0	45	3.1	100	表層打替え
2500	2600	100			8.9	3.5	0	0	0	5	0	0	10	10	0	0	25	3.1	100	表層打替え
2600	2700	100			19.5	7.3	0	0	0	5	0	0	10	10	0	0	25	3.1	100	表層打替え
2700	2800	100			19.3	14.4	0	0	0	5	0	0	10	10	0	0	25	3.1	100	表層打替え
0	100	100	宮山	C	20.4	4.3	20	0	10	0	10	10	10	0	10	10	60	5.2	100	切削オーバーレイ
200	300	100			15.1	3	0	0	10	0	0	10	10	0	10	10	50	5.2	100	切削オーバーレイ
300	400	100			17.3	3.8	0	0	10	0	0	10	10	0	10	10	50	5.2	100	切削オーバーレイ
1300	1400	100	宮山	C	2.3	5.3	0	0	10	5	0	0	10	0	10	0	35	5.2	100	切削オーバーレイ
1400	1500	100			8.3	6.5	0	0	10	5	0	0	10	0	10	0	35	5.2	100	切削オーバーレイ
1500	1510	10			1.1	6	0	0	10	5	0	0	10	0	10	0	35	5.2	10	切削オーバーレイ
200	300	100	倉見	D	8.4	4.1	0	0	0	5	0	0	10	0	0	0	15	3.1	100	表層打換え
300	400	100			9.3	7.8	0	0	0	5	0	0	10	0	0	0	15	3.1	100	表層打換え
400	440	40			34.1	3.5	20	0	0	5	0	0	10	0	0	0	35	3.1	40	表層打換え
600	700	100	宮山	D	35.9	2.6	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	3.1	100	全層打換え
700	800	100			8.1	3.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.1	100	全層打換え
800	900	100			51.6	3.4	50	0	0	0	10	0	0	0	0	0	60	3.1	100	全層打換え
74	100	26	宮山	D	79.3	8.7	60	0	0	5	0	0	0	0	0	0	65	3.1	26	全層打換え
100	200	100			58	7.2	50	0	0	5	10	0	0	0	0	0	65	3.1	100	全層打換え
200	246	46			40.9	6.4	50	0	0	5	0	0	0	0	0	0	55	3.1	46	全層打換え
300	400	100	宮山	D	27.6	6.3	20	0	0	5	10	0	0	0	0	0	35	3.1	100	全層打換え
400	500	100			50.6	5	50	0	0	5	10	0	0	0	0	0	65	3.1	100	全層打換え
200	300	100	宮山	D	30.5	8.9	20	0	0	5	0	0	10	10	0	0	45	3.1	100	表層打換え
300	400	100			34.7	7.9	20	0	0	5	10	0	10	10	0	0	55	3.1	100	表層打換え
400	430	30			7	4.9	0	0	0	5	0	0	10	10	0	0	25	3.1	30	表層打換え
1700	1800	100	田端	D	25.9	2.9	20	0	0	5	0	0	10	10	0	0	45	3.1	100	表層打換え
1800	1900	100			20.5	6.7	20	0	0	5	0	0	10	10	0	0	45	3.1	100	表層打換え
300	400	100	倉見	C	10	8.6	0	0	5	5	20	0	10	10	10	0	60	5.2	100	切削オーバーレイ
400	500	100			16.7	9.8	0	0	5	5	20	0	10	10	10	0	60	5.2	100	切削オーバーレイ

令和９年度修繕箇所一覧表

修繕計画区間			地区	道路 分類	調査結果		点数											幅員	修繕 実延長 (m)	修繕工法
自 (m)	至 (m)	区間長 (m)			ひび割れ 率 (%)	わだち掘れ (mm)	ひび割れ 率	わだち掘れ	道路分類	区域区分	現地要望	道路改良	通学路	バス路線	緊急輸送 路	都市マス	評価点 合計			
800	900	100	田端	C	25.8	3.1	20	0	10	5	0	0	10	0	10	0	55	5.2	100	切削オーバーレイ
900	1000	100			19.3	4.8	0	0	10	5	0	0	10	0	10	0	35	5.2	100	切削オーバーレイ
1000	1100	100			19.1	8.6	0	0	10	5	0	0	10	0	10	0	35	5.2	100	切削オーバーレイ
1300	1400	100			32.4	5	40	0	10	5	0	0	10	0	10	0	75	5.2	100	切削オーバーレイ
1700	1800	100	大曲	D	17.2	12.9	0	0	10	5	0	0	10	0	10	0	35	5.2	100	切削オーバーレイ
1800	1863	63			12.5	6.9	0	0	10	5	0	0	10	0	10	0	35	5.2	63	切削オーバーレイ
0	100	100			24.6	5.2	20	0	0	5	10	0	10	0	0	0	45	3.1	100	表層打換え
100	200	100			16.2	4.2	0	0	0	5	0	0	10	0	0	0	15	3.1	100	表層打換え
0	100	100	倉見	D	55.8	3.8	50	0	0	5	0	0	0	0	0	0	55	3.1	100	全層打換え
100	200	100			27.7	5.1	20	0	0	5	0	0	0	0	0	0	25	3.1	100	全層打換え
500	600	100	一之宮	D	13.1	8.8	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	3.1	100	全層打換え
600	700	100			49.9	3.3	50	0	0	5	0	0	0	0	0	0	55	3.1	100	全層打換え
700	713	13			36.7	6.2	20	0	0	5	0	0	0	0	0	0	25	3.1	13	全層打換え
0	100	100	倉見	D	33.3	4.1	20	0	0	5	0	0	0	0	0	0	25	3.1	100	全層打換え
100	200	100			33.5	15.2	20	0	0	5	10	0	0	0	0	0	35	3.1	100	全層打換え
200	300	100			53.7	8.6	50	0	0	5	0	0	0	0	0	0	55	3.1	100	全層打換え
300	400	100			25.2	4.3	20	0	0	5	0	0	0	0	0	0	25	3.1	100	全層打換え
400	500	100	大蔵	C	56.5	4.6	50	0	0	5	0	0	0	0	0	0	55	3.1	100	全層打換え
400	500	100			18.5	6.8	0	0	10	5	0	0	10	10	10	0	45	5.2	100	切削オーバーレイ
1000	1100	100	大蔵	C	2.1	5.5	0	0	10	5	0	0	10	10	10	0	45	5.2	100	切削オーバーレイ
0	100	100	倉見	D	30	11.7	20	0	0	5	0	0	0	0	0	0	25	3.1	100	全層打換え
100	122	22			41.7	11.7	50	0	0	5	0	0	0	0	0	0	55	3.1	22	全層打換え
200	300	100			35.3	7.0	20	0	0	5	0	0	0	0	0	0	25	3.1	100	全層打換え
300	400	100	宮山	D	42.3	4.5	50	0	0	5	10	0	0	0	0	0	65	3.1	100	全層打換え

令和 10 年度修繕箇所一覧表

道路 種別	路線 番号	路線名称	修繕計画区間			地区	道路 分類	調査結果											点数											幅員	修繕 実延長 (m)	修繕工法
			自 (m)	至 (m)	区間長 (m)			ひび割れ 率 (%)	わだち割れ (mm)	ひび割れ 率	わだち割れ	道路分類	区域区分	現地要望	道路改良	通字路	バス路線	緊急輸送 路	都市マス	評価点 合計												
一般	01006	町道田端宮山6号線	2600	2700	100	田端	C	12.7	10.1	0	0	10	5	20	0	10	10	10	0	65	5.2	100	切削オーバーレイ									
			2800	2900	100			26.4	5.5	20	0	10	0	10	0	10	10	10	0	70	5.2	100	切削オーバーレイ									
			2900	3000	100			22.9	5.8	20	0	10	0	10	0	10	10	10	10	80	5.2	100	切削オーバーレイ									
			3000	3100	100			25.3	8	20	0	10	0	10	0	10	10	10	10	80	5.2	100	切削オーバーレイ									
一般	01006	町道田端宮山6号線	100	200	100	田端	C	10.5	6.6	0	0	10	0	0	0	10	10	10	0	40	5.2	100	切削オーバーレイ									
			200	300	100			2.2	7.3	0	0	10	0	0	0	10	10	10	0	40	5.2	100	切削オーバーレイ									
			300	400	100			23.2	9.6	20	0	10	0	0	0	10	10	10	0	60	5.2	100	切削オーバーレイ									
			700	700	100			1.9	4.7	0	0	10	5	0	0	10	0	10	0	35	5.2	100	切削オーバーレイ									
二級	10046	町道倉見46号線	700	800	100	倉見	C	9.5	2.4	0	0	10	0	10	0	10	0	10	0	40	5.2	100	切削オーバーレイ									
			800	900	100			15.4	4.7	0	0	10	0	0	0	10	0	10	0	30	5.2	100	切削オーバーレイ									
			900	980	80			9.7	3.7	0	0	10	0	0	0	10	0	10	0	30	5.2	80	切削オーバーレイ									
			0	50	50			35.7	8.5	20	0	0	5	10	0	10	0	0	0	45	3.1	50	表層打替え									
その他	04025	町道大曲一之宮25号線	0	55	5	大曲	D	4.1	12.4	0	0	0	5	0	0	0	10	0	0	15	3.1	5	表層打替え									
			55	100	45			32.6	22.2	20	10	0	5	0	0	10	0	0	0	45	3.1	45	表層打替え									
			100	158	58			19.4	4.4	0	0	0	5	0	0	10	0	0	0	15	3.1	58	表層打替え									
			158	163	5			1.1	7	0	0	0	5	0	0	10	0	0	0	15	3.1	5	表層打替え									
			163	200	37			24.1	4.8	20	0	0	5	10	0	10	0	0	0	45	3.1	37	表層打替え									
			200	201	1			36.7	19	20	0	0	5	0	0	10	0	0	0	35	3.1	1	表層打替え									
			201	206	5			1.1	19	0	0	0	5	0	0	10	0	0	0	15	3.1	5	表層打替え									
			206	277	71			14.1	12.4	0	0	0	5	10	0	10	0	0	0	25	3.1	71	表層打替え									
			277	283	6			1.1	3.1	0	0	0	5	0	0	10	0	0	0	15	3.1	6	表層打替え									
			283	300	17			29.5	3.1	20	0	0	5	0	0	10	0	0	0	35	3.1	17	表層打替え									
			300	400	100			27.7	5.3	20	0	0	5	0	0	0	0	0	0	25	3.1	100	全層打換え									
			400	500	100			46.3	3.9	50	0	0	5	0	0	0	0	0	0	55	3.1	100	全層打換え									
			500	600	100			6.9	2.6	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	3.1	100	全層打換え									
			600	700	100			27.1	9.6	20	0	0	5	0	0	0	0	0	0	25	3.1	100	全層打換え									
			500	600	100			57.4	5.3	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	3.1	100	全層打換え									
			600	685	85			23.3	6.3	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	3.1	85	全層打換え									

令和 11 年度修繕箇所一覧表

道路 種別	路線 番号	路線名称	修繕計画区間			地区	道路 分類	調査結果			点数											幅員	修繕 実延長 (m)	修繕工法
			自 (m)	至 (m)	区間長 (m)			ひび割れ 率 (%)	わだち割れ (mm)	ひび割れ 率	わだち割れ	道路分類	区域区分	現地要望	道路改良	通字路	バス路線	緊急輸送 路	都市マス	評価点 合計				
一般	07029	町道小谷宮山29号線	700	800	100	小谷	C	10.6	5.4	0	0	10	0	0	10	10	10	0	0	40	5.2	100	切削オーバーレイ	
			800	900	100			12.5	5	0	0	10	0	0	10	10	10	0	0	40	5.2	100	切削オーバーレイ	
			900	1000	100			3.8	3.4	0	0	10	0	0	10	10	10	0	0	40	5.2	100	切削オーバーレイ	
			1000	1082	82			3.1	3	0	0	10	0	0	10	10	10	0	0	40	5.2	82	切削オーバーレイ	
			1300	1400	100			11.4	5.5	0	0	10	0	0	10	10	10	0	0	40	5.2	100	切削オーバーレイ	
その他	10048	町道倉見48号線	0	100	100	倉見	D	40.1	3.3	50	0	0	5	0	0	0	0	0	55	3.1	100	全層打替え		
一般	05018	町道岡田倉山18号線	100	200	100	岡田	C	1.9	5.7	0	0	10	5	0	0	0	10	10	0	35	5.2	100	切削オーバーレイ	
			200	300	100			1.7	3.7	0	0	10	5	0	0	0	10	10	0	35	5.2	100	切削オーバーレイ	
二級	05007	町道岡田7号線	100	200	100	岡田	C	7.6	6.0	0	0	10	0	0	10	0	0	0	0	20	5.2	100	切削オーバーレイ	
			200	300	100			4	3.8	0	0	10	0	0	0	0	0	20	5.2	100	切削オーバーレイ			
			300	400	100			2.4	2.8	0	0	10	0	0	0	10	0	0	20	5.2	100	切削オーバーレイ		
			400	500	100			2.4	5.8	0	0	10	0	0	0	10	0	0	20	5.2	100	切削オーバーレイ		
			500	600	100			9.6	4.9	0	0	0	5	0	0	10	0	0	0	15	3.1	100	表層打換え	
二級	05036	町道岡田36号線	500	600	100	岡田	D	28.8	4	20	0	0	5	0	0	10	0	0	35	3.1	100	表層打換え		
その他	09038	町道倉山28号線	700	798	98	宮山	D	49.4	7.8	50	0	0	0	0	0	0	0	0	50	3.1	98	全層打換え		
その他	09064	町道倉山倉見64号線	100	200	100	宮山	D	33.5	3	20	0	0	0	0	0	0	0	0	20	3.1	100	全層打換え		
その他	10080	町道倉見80号線	600	700	100	倉見	D	47.4	5.5	50	0	0	0	0	0	0	0	0	50	3.1	100	全層打換え		
			800	800	100	工事済		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			800	900	100		31.6	2.5	20	0	0	0	0	0	0	0	0	20	3.1	100	全層打換え			
			900	964	64		34.3	3.8	20	0	0	0	10	0	0	0	0	30	3.1	64	全層打換え			
その他	09069	町道倉山倉見69号線	800	900	100	宮山	D	18.4	4.8	0	0	0	0	0	10	10	0	0	25	3.1	100	表層打替え		
			900	1000	100			20.3	6.1	20	0	0	5	0	0	10	10	0	0	45	3.1	100	表層打替え	
			100	200	100			23.6	8.7	20	0	0	5	10	0	0	0	0	35	3.1	100	表層打換え		
その他	09050	町道倉山50号線	100	200	100	宮山	D	36.7	2.5	20	0	0	5	10	0	0	0	0	35	3.1	25	表層打換え		

令和 12 年度修繕箇所一覧表

道路 種別	路線 番号	路線名称	修繕計画区間			地区	道路 分類	調査結果											評価点 合計	幅員	修繕 実延長 (m)	修繕工法	
			自 (m)	至 (m)	区間長 (m)			ひび割れ率 (%)	わだち割れ (mm)	ひび割れ率	わだち割れ	道路分類	区域区分	現地要望	道路改良	通字路	バス路線	緊急輸送路					都市マス
一般	05018	町道岡田宮山18号線	500	600	100	岡田	C	10.3	8.1	0	0	10	5	0	0	0	10	10	0	35	5.2	100	切削オーバーレイ
			600	700	100			16.2	9.5	0	0	10	5	0	0	0	10	10	0	35	5.2	100	切削オーバーレイ
			700	795	95			7.1	4.1	0	0	10	5	0	0	0	10	10	0	35	5.2	95	切削オーバーレイ
その他	10113	町道倉見113号線	600	700	100	倉見	D	24.1	3.2	20	0	0	10	5	0	0	10	10	0	45	3.1	100	全層打換え
			700	800	100			20.2	3.7	20	0	0	5	0	0	10	10	0	0	45	3.1	100	全層打換え
			800	900	100			19.3	4.4	0	0	0	5	0	0	10	10	0	0	25	3.1	100	全層打換え
			900	1000	100			21.4	7.4	20	0	0	5	10	0	10	10	0	0	55	3.1	100	全層打換え
			1000	1100	100			44.8	3.1	50	0	0	5	10	0	10	0	0	85	3.1	100	全層打換え	
			1100	1200	100			54.2	3.1	50	0	0	5	5	0	2	10	10	0	75	3.1	100	全層打換え
その他	03003	町道中瀬3号線	100	200	100	中瀬	D	59.1	3.6	50	0	0	5	0	0	10	10	0	75	3.1	52	全層打換え	
			200	300	100			12.3	3.1	0	0	5	10	0	0	0	0	15	3.1	100	表層打換え		
			300	361	61			31.4	9.1	20	0	0	5	10	0	0	0	0	35	3.1	100	表層打換え	
その他	10080	町道倉見80号線	0	100	100	倉見	D	25.5	4.5	20	0	0	5	10	0	0	0	25	3.1	61	表層打換え		
			100	200	100			22.5	2.6	20	0	0	5	10	0	0	0	0	35	3.1	100	表層打換え	
その他	01031	町道田端一之宮31号線	0	100	100	田端	D	20.1	3.9	20	0	0	5	0	0	0	0	25	3.1	100	表層打換え		
			100	200	100			31.6	3.3	20	0	0	0	0	10	0	0	0	30	3.1	100	表層打換え	
その他	02005	町道一之宮5号線	0	100	100	一之宮	D	14.6	5.0	10	0	0	0	0	0	10	10	0	30	3.1	100	表層打換え	
			100	200	100			25.8	10.3	20	0	0	0	10	0	0	0	20	3.1	100	表層打替え		
その他	10038	町道倉見38号線	0	100	100	倉見	D	20.7	2.4	20	0	0	0	0	0	0	0	20	3.1	100	表層打替え		
			100	200	100			28.2	8.2	20	0	0	5	0	25	0	0	25	3.1	100	表層打換え		
その他	09038	町道宮山68号線	0	100	100	宮山	D	31.1	4.7	20	0	0	5	10	35	0	0	35	3.1	100	表層打換え		
			100	144	44			28.9	6.8	20	0	0	0	10	0	0	0	30	3.1	100	表層打替え		
その他	02055	町道一之宮55号線	0	100	100	一之宮	D	33.4	2.7	20	0	0	0	0	0	0	0	20	3.1	44	表層打替え		
			100	200	100			33.9	8.8	20	0	0	5	0	0	0	0	25	3.1	100	表層打替え		
その他	05079	町道岡田79号線	100	200	100	岡田	D	22.2	7.5	20	0	0	5	0	0	0	0	25	3.1	100	表層打替え		
			200	300	100			25.1	3.8	20	0	0	5	0	0	0	0	25	3.1	100	表層打替え		
			300	400	100			22.9	9.3	20	0	0	0	0	0	0	0	25	3.1	100	表層打替え		
その他	05079	町道岡田79号線	0	100	100	岡田	D	31.5	7.9	20	0	0	5	0	0	0	0	25	3.1	100	表層打替え		
			100	200	100			32.9	5.5	20	0	0	5	0	0	0	0	25	3.1	6	表層打替え		
			200	206	6																		

5 今後の課題

本計画に基づき管理を行う中で、効率化を図れるような新技術や新工法が開発された場合には、随時、本計画を見直し、更なる効率化を目指します。

➤ 管理手法について

- ・町では管理道路を道路分類 C・D に分類していますが、実態の交通量としては C・D 内でも差があることから、細分化 (C1、C2、D1、D2) することを検討します。
- ・町の管理として大部分を占める分類 D は、損傷の進行が遅い路線として計画的な管理対象外とし、分類 C を計画的な管理の対象とすることを検討します。
- ・舗装損傷が重度の区間 (路線) については再度交通量調査を行い、交通量区分を適宜見直します。

➤ 点検手法について

点検手法については、現状の技術の中で点検方法と頻度を設定したのになります。現在、様々な点検技術が開発されていることから、寒川町の実情にふさわしい点検技術が開発された場合には、道路分類に応じて点検方法 (分類 C は従来手法、分類 D はスマートフォンなどの簡易機材など) や頻度等の見直しを図るものとします。

➤ 路面性状の劣化予測について

路面性状の劣化予測は、従前計画に則り維持修繕した結果に基づくものであるため、次期点検結果を基に見直しを図ります。

➤ 補修工法について

- ・補修工法については、長寿命化の観点から、ひび割れへのクラックシールを適用するようにしましたが、長寿命化に寄与する新工法・新材料等の情報を収集し、試験施工等により、その性能を確認した上で採用を検討するものとします。
- ・舗装はひび割れや施工継ぎ目から雨水が浸透すると舗装の内部からも損傷が発生し、より劣化の進行を進めるため、舗装の修繕時や地下埋設物の復旧時などには成型目地材を用いることで路盤層への雨水侵入の対策を図ります。
- ・舗装の早期損傷の要因として、層間剥離によるひび割れの発生が挙げられるため、タックコートには PKMT-Q、プライムコートには PK-P を使用することで層間剥離による損傷を遅らせることを検討します。